

令和 5 年度 機械系の実施状況

テーマ	次世代ものづくりのための機械系技術者教育
実施期間	令和 5 年 8 月 23 日（水） 13 時 00 分～17 時 00 分
実施場所	新講義棟 E 講義室
参加者数	本学教員 38 人、高専教員 20 人（本学出身者 7 人） 計 58 人
目的	高専と技科大は、時代の変化に対応しうる実践的なエンジニアを育成してきた。近年、産業界の DX（デジタルトランスフォーメーション）の浸透にともない、AI や IoT、5G ネットワーク、3D プリンタなどによってものづくりが大きく変わろうとしている。本交流集会では、これらの動向を踏まえ、次世代ものづくりを先導する機械系技術者の教育に関して情報交換を行う。
内容	8 月 23 日に実施した本交流集会では、講演 3 件、本学センターの紹介 1 件が行われた。 【講演 1】「次世代ものづくり教育の実例【長岡技科大の取り組み紹介】」と題して磯部浩巳教授から、本学の設計演習の内容について、本学の取り組みの紹介があった。 【講演 2】「次世代ものづくり教育への産業界の期待」と題して、岩間正俊特任教授（元・株式会社岩間工業所取締役）から、他大学の事例として、東大の PBL において 3D 造形を課題として取り組んだ内容を、本学の紹介ではイノベーションにつながる活動事例として DX ラボの取り組みが報告された。 【講演 3】「次世代ものづくり教育の事例【K-DASH 事例紹介】」と題して、富山高等専門学校 電気制御システム工学科 石田文彦准教授から、K-DASH についてのご紹介があった。 【本学センター紹介】田中諭 教授・技学コアファシリティー部門 副部門長（分析計測センター 副センター長）から、コアファシリティーネットワークや本学分析計測センターの紹介・利用案内について説明があった。また、高専教員の具体的な利用方法についても詳細が報告された。 【成果】午前に実施した DX ものづくりラボ見学会では、金属 3

	D プリンタ等の実際の機器を目の前に、利用方法や教育・研究での活用について高専教員から多くの質問があり、意見交換をすることができた。午後の交流集会では、上記のように、次世代ものづくりに関連した、主に設計教育に関する取り組みについて、高専教員と本学機械系教員で有意義な情報共有・意見交換を行うことができた。3D プリンタや材料分析機器等の遠隔操作機器を利用した共同研究、協働教育についても、本交流集会をきっかけに推進されることが期待できる。交流集会終了後の懇親会も、リラックスした雰囲気です様々な意見交換をすることができたため、高専とのネットワークづくり・強化に有効であった。
--	--